



## 私と彼は恋人同士なのでしょうか

彼はいつも私と一緒にいてくれます。私だけを見てくれています。私には特別に親切です。でも、まだどちらからも告白をしていません。私と彼は恋人同士ですか？ ですよね!?



札幌学院大学人文学部教授

**森 直久** (もり なおひさ)

人が互いに行動を調整し合う連鎖的活動をコミュニケーションといいます。歩いてきた人に対して、あなたが脇にずれる。その人は「ありがとう」と言い、通り過ぎていく。あなたは親切心で道を譲り、相手もあなたの意図を感謝で受け止めてくれたようです。しかし、電車待ちの列だと思って後ろについていたら、電車撮影目的の鉄ちゃんだったり、落とし物を拾って届けようとしたら、落とし主が戻ってきて、ネコババの疑いをかけられたりということもあります。互いの行動の意味の解釈が参加者間で一致するとは限らないということです。彼はあなたのことを「異性には珍しく友情が通じるやつ」とか「放っておけない妹分」とか思いながら言動を発し、あなたの行動も彼にとっては「親友」や「妹分」のものに見えるのかも。もちろん恋人と思っているかも、ですが。

コミュニケーションは基本的に、前後する直近の行動が無関連とはいえないように続いていく、局所的な活動です。一連の長い行動連鎖を統御する規則があって、個々の行動がそれに従っているかは保証できません。なんとなく行動を連鎖させているうちに、見当違いの方向に進んでいたということが起きます。おしゃべりを続けていたら、話がいつの間にか変な方向にいった、なんていうことがありますね。参加者は規則に従っているのではなく、一連の行動を統御する規則を想定し、それに合致するように自身の次の行動を産出し、他者の以前の行動を解釈しているだけです。二人のコミュニケーションが恋人同士であるといえる規則に従っているかをあなたは心配しているのですが、はっきり言ってそれはわかりません。

どのような規則を想定してコミュニケーションを展開させているかを互いに確認しては、すなわちメタコミュニケーションを行なってはいいかがでしょう。要するに「告白せよ」ということです。おや、なにか暗いですね。なるほど。確かにあなたが心配するように、恋人同士でなかったとわかってしまうこともありますね。でも、あなたがなんとなく今のようなコミュニケーションを進めていった先に、だんだん彼の行動が期待とズレている気がしてきて、最後に彼から「そういうつもりじゃなかった」と言われることだってあります。昔読んだ漫画に「女と別れるときは気取られないように、1ミリずつ離れろ」という含蓄のある台詞があって……、な、なんですか、その握りしめた拳は。

メタコミュニケーションによって、「恋人同士のもの」と枠付けたくえでコミュニケーションを展開すれば、「恋人同士」規則から逸脱する行動や解釈を産出した場合、逸脱者を非難できます。とはいえ、「メタコミュニケーションをしない」ということが恋人のルールだったりもするから面倒です。「俺のこと好きか」ときいたら、「そんなこともわからんようになったんかあ?」と愛想つかされることだってあります。人生は左様に不確実であります。次もまた会えると思っても会えないことだってあります。人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し。とはいえ、不確実性を期待と可能性の源とみて、ドキドキ!しながらの人生もまた楽しからずやでありましょう。



### Profile — 森 直久

札幌学院大学人文学部教授。専門は認知心理学、社会心理学。主な著書は、『心理学者、裁判と出会う：供述心理学のフィールド』（共著、北大路書房）など。